

令和 7 年 9 月 2 日 開 会

令和 7 年度第 6 回教育委員会定例会会議録

垂水市教育委員会

令和7年度 第6回教育委員会定例会

日時、場所及び出席者

日時及び場所	出席者	
令和7年9月2日(火)	教 育 長 明 石 浩 久	教育総務課長 小 池 康 之
午後2時	教 育 委 員 吉 富 和 夫	学校教育課長 川 崎 史 明
↓		蓮子指導主事
午後3時30分	教 育 委 員 葛 迫 幸 平	
第2研修室	教 育 委 員 田之上 厚美	社会教育課長 大 迫 隆 男
	教 育 委 員 福 里 由 加	

会 議 要 旨

1 開 会

定刻、定足数に達しており、令和7年度第6回教育委員会定例会を開会した。

2 前回会議録の承認について

令和7年度第5回教育委員会定例会の会議録について、承認する旨、教育長から発議があり、全会一致で議決された。

3 議 事

報告第22号 垂水市教育委員会事務局職員の令和7年9月1日付け人事異動について

報告第23号 令和7年度垂水市一般会計補正予算(第4号)案についての市長への意見申出について(非公開)

議案第10号 垂水市教育支援委員会答申について(非公開)

4 その他

5 動議の討論等

6 委員並びに教育長及び課長報告

7 閉 会

議 決 事 項

件 名	提案等理由	審議の状況	採決の次第
報告第22号 垂水市教育委員会事務局職員の令和7年9月1日付け人事異動について	令和7年9月1日付け人事異動に係る転任者等を報告するもの。		
報告第23号 令和7年度垂水市一般会計補正予算(第4号)案についての市長への意見申出について	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、市長から教育委員会の意見を求められたが、急施を要したため、教育長の臨時代理により意見の申出を行ったことを報告するもの。		承認
議案第10号 垂水市教育支援委員会答申について	垂水市教育支援委員会規則第2条第2項に基づき、審議した結果が、答申されたため会議に付するもの。	特記事項なし	承認

議 事 内 容 等

3 議 事	
教育総務課長	報告第22号 垂水市教育委員会事務局職員の令和7年9月1日付け人事異動について (資料に沿って説明)
教育総務課長	報告第23号 令和7年度垂水市一般会計補正予算(第4号)案についての市長への意見申出について (非公開) (承認)

学校教育課長	議案第 10 号 垂水市教育支援委員会答申について (非公開) (承認)
4 その他	
教育総務課長	学校のあり方検討委員会の状況について (資料に沿って報告)
教育長	児童、保護者のアンケート調査結果を尊重しながら進めていかなければと考えております。今後も、教育委員会定例会において、教育委員の方々にも報告させていただき、検討を進めていく必要があると思っています。
吉富委員	今後、児童数が減っていくと、複式学級であっても、文部科学省から指針を示されている、対話的な学習は、非常に厳しいのかなと思います。また、学校施設が老朽化していくと、危険度が増してくると思われます。新しい、学校施設で、学習を受けるといことも安全上必要なことになってくると思います。 その現状を、丁寧に保護者や地域に説明をしていく必要があるのかなと思います。
教育総務課長	鹿児島県が主催いたします、令和7年度地域が育む「かごしまの教育」における県民週間表彰ポスター原画部門において、新城小学校1年生の児童が最優秀賞を受賞することになりましたのでご報告いたします。 表彰者の作品展について、10月15日から21日の期間、鹿児島山形屋の2・3号館3階ブリッジギャラリーにおいて作品展示されるということです。
葛迫委員	ポスター原画部門での最優秀賞なので、ポスターになるのかもしれませんがね。
教育長	大変うれしいお知らせでした。
蓮子指導主事	小・中学校の体育大会及び運動会につきまして、教育委員の皆様にも、ぜひご出席いただきたいと考えております。日程や時間をお知らせいたしますので、調整の上、ぜひよろしくお願いいたします。
5 動議の討論等	(なし)

6 委員並びに教育長及び課長報告

葛迫委員

委員並びに教育長及び課長報告に入る。

小学生を対象にした、1day市民講座「図画工作」が、8月19日夏休みに開催され指導に行きました。

今年で2回目となる1day市民講座ですが、図画工作以外に書道や親子料理といった講座を夏休みだけに特化した小学生を対象にした市民講座です。

図画工作の講座には、小学校1年生から6年生まで、午前中に12名、午後から7名の19名の参加者があり、夏休みに描いた図画作品を持ち込んで、仕上げる講座でした。垂水小学校9名、新城小学校4名、協和小学校3名、水之上小学校2名、牛根小学校1名の児童が持ち込んだ作品は、色塗りまで仕上げてきた児童がいたり、最後の仕上げの方法がわからないまま持ち込んできた児童がいたり、鉛筆だけの下書きしかない児童がいたり、様々な作品が持ち込まれました。

市民講座だけでは終わらなかった児童には、作品の完成に向けてのアドバイス等、19名すべての作品の指導をしたところでした。

今年で2回目でしたが、今年は参加者も多くて、図画の宿題が多いなと思うところでした。

自宅で子どもたちが絵を書くというのは難しいのかなとか思われました。学校で描くのと、自宅で描くのと、勉強もそうでしょうが、集中力が途切れてしまっている子が多いのかなと感じたところです。

令和7年度の第76回鹿児島県図画作品展が、黎明館で8月28日から31日まで開催され、行ってきましたので報告いたします。本日、鹿児島県図画作品展のチラシを配布させていただきました。2段目の真ん中あたりに、協和小学校1年生の児童が県美育協会賞をいただいております。「かまきりみつけ」という作品です。

垂水市からは、7月15日の審査会において、優秀な作品を各小・中学校から数点を選出して、この作品展に出品しました。

毎年、垂水市の児童も入選や特選はしていたのですが、チラシに掲載されるということがなかなかなかったので、非常にうれしく思いました。

県内の幼稚園、保育園、小・中学校及び特別支援学校から、1231点が集められて、特別賞、特選、入選の406点が選出されました。

垂水市では、県美育協会賞に協和小学校1年生の「かまきりみつけ」が選ばれ、入選には水之小学校6年生、垂水中央中学校1年生、2年生、計4名が受賞されました。

作品を見て感じたことは、カマキリの大きさが自分と同じぐらい大きく描いていたこと、車の整備工場内のムンムンとした熱い様子が伝わってきたこと、黒いドラムの黒い光がすてきに見える様子、港に集まる船の様子と夕焼けの光が織りなす画面に、美しさを感じました。

すべての作品には、自分が何を描くんだという強い心、気持ちが見る人に伝わってくる作品であったなと感じたところです。

福里委員

8月25日の学校の在り方検討委員会に、幼稚園の代表として参加しました。学校や地域など、それぞれの思いがあると思うんですが、子どもたちにとっていい結果が出るといいなと思いました。

また、子どもたちの長いようで短い夏休みが終わりました。夏休みの宿題として

	定番であり一番大変なのが作文だと思います。最近、中学生では、ChatGPTで済ませる子が多いとのことです。テレビでも、自由研究などで参考にするのはいいが、作文でそのまま使うのはどうかと言われていました。 子どものクラスで、先生に選ばれた作文は、ChatGPTで書いた子の作文だったようで、子どもも、ちょっと便利になるのはいいのですが、子どもにいい方向で、活用方法があるといいなと思いました。
教育長	読書感想文の代行業というのがあり、400字詰め原稿用紙の枚数に応じて代行する業者があるとのことです。ただ、そのまま提出しないというのが条件だそうですけど、腑に落ちない思いがしております。
吉富委員	大学の卒業論文でも、そういうのをを使って、書く生徒がいるとのことです。検索の仕組みがあり、分かるそうです。
田之上委員	夏休みの子どもたちの様子の一部として、垂水児童クラブの活動をお話します。50～60人の子どもたちが、朝から夕方までの長い時間を過ごすため、朝の早い時間帯での外遊び、室内での過ごし方、自由に遊ぶ時間と学習や読書など、静かに過ごす時間帯との区別、学校図書室の開いている日の利用や体育館での活動など、様々メリハリをつけながら過ごしました。 取組の中から、3つの活動を紹介したいと思います。 1点目が、ベネッセチャレンジスクールで、ZOOMを利用して硬筆に挑戦をしました。希望者のみ参加する予定だったのですが、画面の向こうから呼びかけをしてもらったりそれに答えたりするということで、子どもたちがすごく喜んでくれて、ちょうどその日に来所していた子どもたち全員が集中して取り組めたというふうに聞いています。 次に、夏祭り、お店屋さんごっこと呼んでいるのですが実施をしました。子どもたちや職員が、夏休み中に作った小物を売ったり、射的、ボールすくい、魚釣りなどのゲーム、ガチャガチャやかき氷など、お客さんと店員さんに分かれて行いました。交代で両方の役割を楽しんでくれたと思います。当日は小学校に勤務されていた先生方も、何人か来てくださって子どもたちと一緒に楽しんでいただくことができました。 3点目ですが、さざなみ学童クラブとの交流会を持ちました。といいますのが、7月に児童クラブの研修会があり、その時に、さざなみ学童クラブの先生とちょっとお話をすることができました。さざなみ学童クラブの先生が、垂水児童クラブは校庭が使えるので、いいですねと言われたところでした。体育館も使わせていただけるんですよというお話をしたら、本当いいですよねというお話から、さざなみ学童クラブさんはバスをお持ちなので、よかったら遊びに来られませんかというお話をしました。今、中学校の不登校とかを考えたときに、小学校のときから学校の枠を超えて、いろんな交流ができればいいなという思いもあったので、そういう提案をしてみました。私も自分のところの職員とも話をしたらみんなが乗り気になって、夏休みになってから急遽ではありましたが、さざなみ学童クラブさんと話を進めて、実現にこぎつけたという、いきさつがありました。当日はバスに乗って、垂水小学校に来てもらいました。体育館で上学年はドッジボール、下学年はドッチビー大会を実施しました。両方のクラブの混成チームを作って、お互いに対戦して遊びました。最後には、それぞれのクラブ、さざなみ対垂水小で選抜チームを作って、ドッジボールで対戦してとても盛り上がりました。このような交流が回を重ね

吉富委員	ることで、学校の枠を超えて仲良くなっていってくれたらいいなと思うところでした。長い夏休みでしたが保護者の方にとっては毎日のお弁当づくりも大変だったと思います。子ども食堂さんが3回食事の提供をしてくださり、保護者の方々にはとても喜ばれました。また、2年目研修で先生が3日間入られて、子どもたちと、じっくり関わってくださったことも子どもたちにとってはうれしいことでした。長い時間を限られた空間で過ごすため、トラブルになることもありましたが、大きなケガなく過ごすことができてほっとしているところです。 8月21日から20日にかけて、1泊2日の日程で、肝属地区教育委員会連絡協議会の管外研修に参加いたしました。垂水市からは、教育総務課長と私の2名、鹿屋市7名、東串良町3名、錦江町2名、南大隅町6名の計20名で、貸切バスで移動しました。 初日は、午後1時からの九州地区市町村教育委員会研修大会に参加しました。長崎県大村市体育文化センターにおいて開催されました。行政説明、スポーツ庁スポーツ戦略監による、社会の変化を踏まえた教育施策の推進についての講話がありました。内容としましては、人口構造の変化など、子どもたちを取り巻く社会の姿が変わる中、学校現場が直面する課題等を踏まえて、今後の国の教育施策の動きを説明されました。またスポーツ庁が推進する部活動改革について、現状や展望を示されました。現状や課題について、ネット環境では、5Gの世界がやってくると言われました。車の自動運転、遠隔医療、テレワーク、Amazonの流通の倉庫では、8割がロボット化していて、人力で運ぶことはない。情報化社会も進み、時代の変化がますます加速していること、また、少子化も加速しているということでした。その他、新入社員は、採用後3年間で7割が退職している現状やネット利用は10歳までで、50%を超えていること。タブレット端末による学習形態の変化、全国学力・学習状況調査で求められる学力の変化、日本の児童生徒は、自分の考えを持つことにおいては、海外の53%よりポイントが低く、10%から20%であるそうです。 学習で教師に頼りっぱなしの学力は問題であると言及されました。部活動改革としては、少子化が加速し、これから10年間で児童生徒は今の45%まで減り、学校単位ではできないところが増えてきている。近隣の学校で混合チームや地域でまとまっての部活動になってくるとのことです。 学校教員の働き方改革の趣旨も含め、部活の顧問を学校外の人材にゆだねられることになってくることが予想されます。指導者の人材確保が今後課題となってくることを言われました。 次の講演では「音楽は楽しく」との演題で大村市音楽指揮官による講演がありました。久留米市生まれで、武蔵野音楽大学でホルンの指導、東京シティフィルハーモニー管弦楽団隊員、その後、活水学院の特任教授を務め、マーチングバンドで数々の賞を受賞されております。現在は島根県、京都を拠点に音楽の指導にあたっておられました。大村市の小学校の金管バンドの指導もされている方です。数々のご苦労がある中、指導方法について、楽器がなかなかうまくならない子どもに寄り添い、どうしたらうまくなるかを、その子どもと一緒に考え、どの子ども音楽を楽しめる集団づくりに取り組んでおられました。礼儀や人としての心構えなど、しつけや態度の指導を徹底して行い、音楽指導を通して、人格を育てておられることがよく伝わりました。とにかく、指導者である自分が生き生きとしていることが大事だと言われておりました。 最後に、大村市の国重要無形民俗文化財の「風流踊」の「黒丸踊」の講演が
------	--

教育長	ありました。踊り子が担ぐ直径5メートル重さ60キロのしだれ梅を催した大輪の竹すだれ、太鼓や竹笛、歌に合わせて回転し、大変美観でございました。 2日目は、武雄市図書館の視察でした。木造を主とした建物の中は柱のない全フロアが1つの空間で、2階部の壁の蔵書が1階フロアから見渡すことができ、一步館内に足を踏み入れると、大量の蔵書が見渡すことができ、壮観といえるほどの空間が広がっておりました。韓国からも視察に来られ、韓国の図書館でも、モデルともなっているということでした。運用は一部民間企業に委託され、本や雑誌販売のTSUTAYAさんと提携し、売り物の本や雑誌も自由に閲覧できるようにし、さらにスターバックス店を館内入口付近に配置して、喫茶ルームも備えておりました。武雄市図書館のコンセプトは、市民の自己実現の手助けになるということで、様々な市民講座や子ども向けのイベントを開催し、社会教育の大きな役割を果たす場として運営されていました。このように、2日間の管外研修でしたが、肝付地区の教育長をはじめ教育事務局の皆様等の交流会も大変有意義で、楽しいひとときを過ごさせていただきました。 8月21日木曜日、熱帯低気圧から変わった台風12号に振りまわされた1日でした。出校日であった子どもたちの下校を心配しましたが、特に大きな事故等もなく安堵しました。一方で、垂水フェリーの運航見合わせの情報がありましたので、各学校に周知いたしました。垂水港15時10分発を最後に運行見合わせということで、鹿児島市から通勤されている先生方も乗船されたようです。しかし、荒天により、鴨池港に接岸できずに、海上で待機しているという情報を学校からもらって、指導主事みんなと大変心配いたしました。本市の先生方14人乗船されていたと聞きましたが、中には体調を崩された方もいらっしゃるということでしたが、出航から3時間以上経過した18時過ぎに鴨池港に無事着岸できたという連絡があったので、胸をなでおろしたところでした。 この台風の翌日は夏期合同研修会を計画していましたが、台風による避難所が市民館に開設されたことや、参加者や講師の方々の移動の安全面を考慮し、中止といたしました。県内外の講師をお招きして、GIGAに関する研修を、終日実施しようと担当が細やかに準備してくれていただけに、大変残念な思いをしましたが、講師の方々と各学校をつないでオンラインでと、学校教育課長が粘りましたが、当日の先生方の出勤も見通せない状況でしたのであきらめたところでした。 講師の方々には可能な限り、講演内容を録画していただいて、後日、オンデマンド配信による研修を、ぜひ実施したいと考えているところです。 台風当日の午前中は、垂水市が平成29年から連携協定を結んでおります鹿屋体育大学で行われた会議に参加していたのですが、台風のことはそこまで意識なかったのですが、午後になって急な対応を迫られました。今後の糧にしなければと思ったところです。 鹿屋体育大学との連携の一環として、学校教育課では主に3つの取り組みを行っています。 1点目は、小・中学校の体育の授業における学生指導です。学校からの要望により、水泳や陸上競技等の時間に学生を派遣していただいており、子どもたちが競技のコツやポイントを学ぶ機会となっています。 2点目は先生方への指導です。今年度は、市の保健主任と養護教諭の合同研修会において、体育大学の先生から熱中症に関する講話をいただき、専門的な知識や具体的な対応について学べたと参加者から好評を得たと、報告を受け
-----	---

教育総務課長 学校教育課長 社会教育課長 7 閉 会	たところす。 3点目は、部活動指導員としての学生の派遣です。現在、垂水中央中学校のバドミントン部の指導をしていただいております。こうした連携の中で一学期にうれしいことがありました。垂水中央中学校の水泳指導に来てくれた学生は、私が校長時代に生徒会長だった生徒でしたので、指導の様子を見に行きました。先日の鹿屋体育大学との連携協議会でそのことをお話しましたら、終了後、彼が入っているゼミの担当教授があいさつに来てくださいました。ゼミの中でも意欲的で人間的にも素晴らしい学生ですと話してくださいました。また生徒がうれしい思いにしてくれました。 8月9日から9月2日までの主な行事等について各課長が報告。 併せて、9月3日から10月9日までの行事予定についてお知らせした。
--	---